

第一言語を保持することとは重要です。



自宅で、または家族と別の言語を話している場合、できるだけ早い時期から子供に英語のほかにも両親が家で話す言語を学ばせることは、いい考えです。

子供が第一言語で識字能力を身に付けると、英語識字能力の養成に役立ちます。1つの言語で取得したスキルは、他の言語にも役立ちます。

家で話す言語を保持する生徒には、次の傾向があります。

- 言語の機能についての理解が優れている
 - 単語、発音、綴りまたは文法の類似性が学習の利点となる。言語が英語と非常に異なる場合でさえも、音や語順などの役立つ類似点がある可能性がある。
- これにより、言語についての子供の全般的な自信が大きく向上するので、子供は次のことを行います。
- さらに積極的に授業に参加する
 - ゴットと素早く単語を理解・推測できる
 - 辞書を活用し、ノートを整理してとることができる
 - 追加情報または新しい情報を求める

2つの言語は1つよりも優れています



生徒は通常、自身の努力と家族の協力により、家の言語を習得します。

両親が2人とも両方の言語に流暢である必要はありません。また、言葉を使うたびに1つの言語から別の言語に翻訳する必要はありません。優れたやり方に、1人の親が英語で話して読んでから、もう1人が家の言語で話して読み、両方の言語（1人の親が1言語）に同等に子供を慣れさせる、という方法があります。

家で話す言語を保持する生徒には、次の傾向があります。

- 家の言語を習得して使えることに誇りを持つ
- 母国の伝統を保持することに興味を持つ
- 言語全般と異なる文化を学ぶことに、広い興味を持つようになる

2つの言語で能力と自信をつける生徒は多くの場合、後で3つ目の言語を熱心に学ぼうとします。すでに取得した能力により、3つ目の言語学習が容易になります。

調査によれば、幼少時代に言語を学ぶと、その他の学業と自己啓発に役立つという結果が出ています。

また、将来の就職にも有利になります。子供が英語以外の言語を習得・保持する支援をする親は、ビジネス、外交、教育、ジャーナリズム、商業、観光またはその他多数の分野でより広いキャリアの選択肢を子供に提供することになります。

外国語の能力があると、他の国および文化出身の人々を理解するのに役立つので、より優れた社会と世界平和の実現に貢献できます。

ACSSO

Australian Council
of State School
Organisations Inc.



Australian Parents Council Inc.